

2018年5月18日

## 住友理工、こまき産業フェスタ 2018 に出展

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、パークアリーナ小牧（愛知県小牧市）で5月26日（土）、27日（日）に開催される「こまき産業フェスタ 2018」に出展します。



昨年の住友理工ブースの様子

当社は1960年に小牧市内に製作所を開設し、1964年に本社を移転して以降、小牧本社・製作所を事業運営の中核拠点とし、地域住民の皆さまのご理解とご協力を得ながら事業活動を進めてきました。本イベントは、当社の技術や製品などを知っていただく貴重な機会ととらえ、毎年出展をしています。

今年は、東京モーターショー2017に展示し好評だった、当社独自開発のすべてゴムでできた「スマートラバー（SR）センサ」が内蔵された特別なイスを出品します。このイスに座るだけで心拍や呼吸などのバイタル情報を検知することができる「SR センサ」の機能を体験することができます。また、毎年子どもたちに人気の実験教室も開催します。当社製品のヘッドレストやアームレスト、エンジンカバーなど自動車の内装品や制遮音材で使用されるウレタンが発泡する原理を、簡単な実験を通じて体験いただけます。

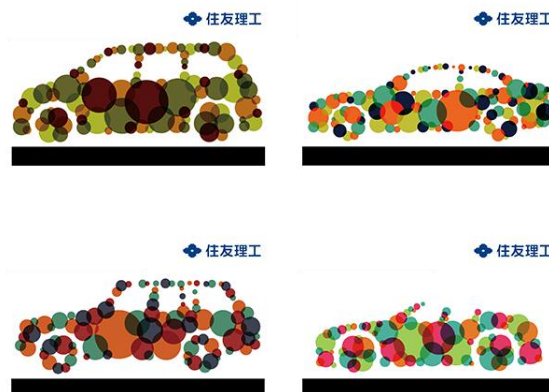
住友理工の技術や製品をぜひご覧ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

## <展示品紹介>

### ・SR センサの体験 –あなたのバイタル情報が素敵な自動車のイラストに–

当社独自開発のすべてゴムでできたセンサー「スマートラバー (SR) センサ」は、自動車の運転手の心拍や呼吸などのバイタル情報を検知する「ドライバーモニタリングシステム」としての活用を目指しています。

今回はこの SR センサが内蔵されたイスをご用意しました。このイスに座るだけで SR センサが体験者のバイタル情報を検知。その結果をもとにカラフルな自動車のイラストを生成し、ステッカーにして体験者全員にプレゼントします。



生成される自動車のイラストイメージ

### ・発泡実験

2種類の特異な液体を混ぜることで「発泡反応」と「固まる(架橋)反応」という化学反応が同時に起こります。実験では、液体が混ざり合った後、発泡しながら膨張し、スポンジへと変化する様子が観察できます。このような原理を利用した発泡素材は、自動車用内装品のヘッドレストや、エンジンカバーなどの制遮音品に使われています。



昨年の実験教室の様子

## <開催概要>

展示会名	こまき産業フェスタ 2018
会期	5月26日(土)、27日(日)
会場	パークアリーナ小牧
ブースエリア	メインアリーナ内 企業出展コーナー ブース番号 22

以上

### ―― 住友理工について ――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail [kouhou@jp.sumitomoriko.com](mailto:kouhou@jp.sumitomoriko.com) <http://www.sumitomoriko.co.jp/>